

幼児期の育ちの姿 ～遊びを通して「学びの芽」を育もう～

こうやって手で押さ
えたらうまく入るか
もしれないよ



僕が手で押さえ
ておくよ

試したり、工夫したりして、遊ぶ楽しさを味わっています(思考力)

時間を掛けて作った「あわクリーム」をペットボトルに入れる方法を考え、たくさん入れることができました

友達と思いや考えを伝え合い、共通の目的を達成しようとしています(言葉・協同性)

先生に抱っこして
もらうのは嬉しいな



新聞紙でボール
ができたよ

周りの大人に愛情を注がれ関わってもらうことで、人と関わり合いながら生きていく力が育ちます(社会性)

先生に見守られながら、新聞紙を破ったり、丸めたり、投げたりして遊んでいます

のびのびと体を動かす遊びを体験して、運動機能が発達します(健康)

おめでとう
いつも優しくしてく
れてありがとう



ありがとう
一緒に遊ぼうね

先生や友達から誕生日を祝ってもらい、お互いが大切な存在であることを認識し、自己肯定感が高まります(自立心・健康)

誕生日を祝う言葉を、自分なりに考えて伝え合っています

感じたことや考えたことを友達に伝えています(言葉・感性)

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- 健康な体と心
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

小学校の学びへ



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中には、「勇氣を出して跳び箱を跳んでみる」「友達と一緒に秘密基地を作る」「育てたトマトの大きさを比べる」「固い泥だんごが作れるように工夫する」「けんかをして仲直りする」「ダンゴムシの居場所を発見する」など、自発的な興味や関心などから生まれる遊びを通して、子どもたちが多くの「学び」を得ていくことが大切であるとされています。

子どもにとって大切なこと

一貫した教育・保育を行う

市は、平成26年度に市独自の「就学前教育保育課程」を策定し、幼保一体化を進めてきました。さらに、「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略」や「高梁市教育大綱」に掲げている「人づくり」に重点を置くため、就学前から高等学校まで一貫した教育・保育を行うことを目的に、昨年4月から学校教育課に就学前指導係を設置しています。



子どもの育ちをサポート

就学前教育アドバイザーは、子どもたちが小学校へ「行きたい」「学びたい」と思えるように、また、就学前に子どもたちが身に付けた「学び」を小学校生活で発揮できるように、子どもたちの育ちを支援する体制づくりに取り組んでいます。



就学前教育の研修会

「学び」を支援する体制づくりに向けた取り組み

- ①各園の教育・保育を共有し、理解を深める
- 各園に出向いて教育・保育の実践を参観し、その在り方を振り返り研修する。
- 各園のそれぞれの教育・保育の実践をお互いに参観できる機会を設ける。
- ②遊びの中で育まれている学びの重要性を小学校につなぐ
- 小学校の教員が各園の教育・保育の実践を参観し、体験できる機会を設ける。
- ③遊びの中で育まれている「学び」をカリキュラムで小学校につなぐ
- 市内各小学校区(小学校・各園)で接続カリキュラムを作成し、実践できるようにする。
- ④教育・保育の実践を関係機関に伝える
- 健康づくり課や子ども未来課、療育機関などと情報交換をする。
- ⑤国、県、市の幼児教育の方針や動向を各園に伝える
- 研修会を開催し、共通理解を図る。